

「国有林材の安定供給システム販売(素材)」の結果公表

平成28年3月30日に公告しました「国有林材の安定供給システム販売(素材)」について、「申請書」及び「企画提案書」等を審査した結果、下記のとおり決定しましたので公表します。

記

1 システム販売の目的

一定の要件を満たす工場等と近畿中国森林管理局長が国有林材の販売に関する相互協定を締結し、その協定に基づき計画的な販売を実施することにより、国有林材の需要、販路の確保・拡大を図り、併せて地域における中核的な素材流通・製材の担い手の育成、流域管理システムの推進等に資することを目的とし、山元において販売するものです。

また、民有林材と国有林材をあわせた国産材の自給率アップに向けて、原木市場でB材・C材といわれる一般材及び低質材の利用・販路の確保等への取り組みを支援しています。

2 応募状況及び審査内容

(1) 応募状況

番号	関係森林管理署等	公募内容		応募件数
		樹種	数量(m)	
1	兵庫	スギ・ヒノキ	1,960	1
2	鳥取	スギ	720	2
3	島根	スギ・ヒノキ	650	4
4	島根	スギ・ヒノキ	1,500	2

(2) 審査内容

企画提案書等の内容が、①システム販売の対象となる需要者の要件を満たしているか(必須項目)、②企画提案する取組の7項目から取組内容が具体的に記載されており数量的指標が記載されているか、③山元購入単価等の提案内容について、審査しました。

3 審査結果

番号	協定締結者	企画提案の概要	
		企画提案する取組	山元購入希望価格 スギ・ヒノキ(円/m ³) チップ原材料N・L(円/t)
1	兵庫県中央市一宮町安積字丸山217-20 協同組合 兵庫木材センター 代表理事 八木 数也	<ul style="list-style-type: none"> 年間約70,000m³の原木を生産している。 同一敷地内に自動選木機、高速製材機、乾燥機、高速加工機の施設を効率的に配置し、輸送コストなどの縮減を達成している。 製材された木材は、全量を乾燥・モルダー加工して品質管理の徹底を行い、製品の付加価値を高めている。 海外向けに中国・韓国だけでなく、ベトナムや台湾にも原木を商品にして国産材製品を出荷している。 端材を出さないよう長さを約0.5mmの精度でジャストカットした製品の供給などによる環境改善や効率的な生産、直接工場に大ロットで納入することによる流通コストの削減を行っている。 地元の小学校や県内の中学生・高校生による工場見学などを通じて、未来を担う子どもたちの支援を行うほか、地元自治体の清掃活動及び行事にも参加している。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 7,386円</p> <p>ヒノキ 7,920円</p>
2	鳥取県鳥取市気高町宝木1562-31 株式会社 エコ開発 代表取締役 荒川 美鈴	<ul style="list-style-type: none"> 中国での広範囲の営業により、直径8cm以上のB材、C材の輸出が可能になった。 直径8cm以上のB材、C材から集材が可能になり低質な材木も輸出することにより、安定した買取先の一つとして素材生産者の貢献に寄与する。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 5,526円</p>
3	鳥根県邑智郡美郷町小松地320 山興緑化 有限会社 代表取締役 河村 健司	<ul style="list-style-type: none"> 移動式チップパーの導入により施業範囲を拡大し、集積場を確保することで増産・集荷車両の効率的な稼働又、山土場に置いて用途別に選別・検収作業を行い直送することで輸送費等のコスト低減を図る。 チップ製造過程で出るバーク(自社2,400t/年排出)他社取引(13,000t/年)で堆肥に再生させ、土壌改良材(実績数量9,500t/年)、法面緑化基盤材(実績数量4,700t/年)として再資源化を実践している。 林地残材(6,000t/年)を積極的に引取り、発電利用に供することにより、森林資源の有効利用で健全な森林への循環を図り、森林更新へ貢献する。又、枝葉(実績23,800t/年)、根株(実績3,500t/年)、木屑(実績13,500t/年)を引取り、堆肥に再生、再び土に戻す取組を実践している。 エコアクション21(基本理念「土から生まれた物は、土にかえそう」)に取り組み、資源の再生利用、再資源化、廃棄物の減量化、環境保全を実践している。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 5,940円</p> <p>ヒノキ 8,450円</p>
4	鳥根県益田市高津7-7-16 株式会社 益田原木市場 代表取締役 阿知波 義雄	<ul style="list-style-type: none"> 大型トラック、グラブ付トラックを所有することにより、輸送体制の安定化を図るとともに、コスト削減に努めている。土場ではグラブやフォークリフトを使用し効率的に選木作業を行っている。 A、B、C材を細かく選木し、A材は建築資材を扱う製材所へ、B材、C材は合板工場又は梱包材を扱う製材所へ納材できる。 外材から国産材へ樹種転換する梱包材を扱う製材所に対して積極的に国産材を納材することができる。 毎週市を開催することにより製材業者、素材出荷者の双方に対して利便性を図ることができる。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 6,700円</p> <p>ヒノキ 7,850円</p>